



全てはこだわりのパンのために「Boulangerie 粉桜」

こだわりのある美味しいパンを提供するパン工房です。「美味しいパンを焼き、お客さんに喜んでもらうこと。日々納得できるパン作りができること。これが目的で、住まいはその為の休息の場…」というクライアントのパンづくりに対する強い想いを感じたことから、パンとそれを作る厨房が主役で、建築はその想いを入れる器でありシンプルな箱としての建築を作りました。



道路に面したイートインでコーヒーを飲みながら休憩し、テラスデッキではお客さんが集まり食事ができるオープンなスペースでもあります。香ばしい焼き立てのパンを頬張りながら過ごす時間は特別です。



ライトアップされた夜間も友好的でやさしい雰囲気。



ありがちな装飾は無用で、こだわりのある美味しいパンを店に並べることで、そのシンプルさがパンの存在感を引き立て、空間の主役にしています。



オープンから3年が経ち、クライアント夫妻が少しずつ植えてきた樹木や草花が、ますます親しみ溢れる雰囲気を醸し出しています。

建築作品部門

まちづくり全般

千葉県大網白里市 季美の森の 小さなパン屋さん

住宅街の街道沿いに溶け込むパン工房

大手デベロッパーが開発したゴルフ場を中心にした郊外型の住宅団地にあり、団地を通り抜ける県道に面したロケーションです。看板、サインはあえて無く、通りすがりの人は店舗だろうけど何屋さんなのか分からず印象だけが残るデザインができました。それでも、近所の方は足繁く通い、イートインやテラスでコーヒーを飲みながら一息継いでます。またこの店のパンのファンがたくさんいて遠方からも買い求めにくるお客さんにも支えられています。地元の良質な材料をこだわりを持って使い、生産者にも支えられている地域に根づくパン屋さんです。

オープンから3年が経ち、クライアント夫妻が少しずつ植えてきた樹木や草花が、ますます親しみ溢れる雰囲気を醸し出しています。一階の売り場はナチュラルな天然木と白い壁を基調にしたとてもシンプルな空間で、ありがちな装飾を無くし、こだわりのある美味しいパンを店に並べることで十分にその個性を表現できると考えました。実際そのシンプルさがパンの存在感を引き立て、空間の主役にしています。そんな店舗でクライアント夫妻が笑顔で迎えてくれ地域の憩いの場になっています。



飯沼竹一

アトリエ24

プロフィール

1985年 日本大学理工学部建築学科卒業
2001年まで (株) 東建築設計事務所勤務
2002年 アトリエ24一級建築士事務所設立
一級建築士、インテリアプランナー、登録建築家

潤いのある人生に必要なもの…それは、一にも二にも美意識だと考えます。住宅や建築は一品生産のもので、たった一つの土地に様々な条件を調整した上で大勢の人が係わってつり上げるオリジナルなものです。美しい街並みの構築に寄与できる建築をプロデュースしていきます。